

市民オンブズ岡崎

ホームページ

<https://onbuds-okazaki.org/>

NO.124

岡崎市竜美中 2-1-8 天野法律事務所内

「市民オンブズ岡崎」

TEL(0564)53-7857FAX53-8038

Email m039asihara@yahoo.co.jp

郵便振替 00870-0-91440 「市民オンブズ岡崎」

発行 2022. 3. 15

2022 年度総会を行います

兼ね 4 月例会を行います

2022 年度は通年を通し、りぶら 102A で行います

4 月総会兼例会

4 月 5 日 (火) PM 7 時 00 分～始めます。

総会では

2021 年度会計決算報告、総括、2022 年度役員人事承認、活動方針、予算案を審議します。

4 月例会では

いろいろな情報共有をしたいと思えます。

コロナが収束が見えないので、以下の点に御配慮ください。

会議室での注意

コロナウイルス感染防止のため、

- ① 熱がある方は参加をご遠慮ください。
- ② マスクの着用をお願いします。
- ③ 会議室内に消毒液が用意してありますので、消毒をお願いします。

1/18 市民講座

「岡崎市の下水道を知ろう」報告

りぶらで、岡崎市民オンブズの主催で、岡崎市上下水道局による「下水道出前講座」を行いました。「下水道出前講座」は当局の説明は以下の通りです。(以下は中野さんの「上下水道草の根メール講座 84 号」からの報告を使わせていただきました。

【岡崎市上下水道局の基本姿勢(ホームページより)】 下水道を通して環境について楽しく学んでいただくための出前講座を開設しており、社会科・総合学習・環境教育学習としてご利用いただけるものとなっております。

講座は、主に説明を中心とした基本コースと実験を組み合わせで行います。実験は 2 種類から

選択していただきます。基本メニュー（25～30分） 1. 暮らしと下水道（水の循環、下水道の役割、必要性など） 2. 下水処理の仕組み（下水の仕組み、処理場で活躍する微生物） 3. 下水道の正しい使い方（家庭や学校でできる水を汚さない工夫、下水道の正しい使い方） 4. 下水道のエコな取組（下水道の資源を有効活用している例） 5. 下水道クイズ（講座内容をクイズ形式で復習）

選択メニュー…実験（15～20分） 1. 紙の溶解実験 下水道へ流していいもの・悪いものを判別するため、トイレットペーパーとティッシュペーパーを水に溶かす実験をします。 2. パックテストを使った水質検査 パックに入った薬品と水が反応して色が変わります。その色を目安として水の汚れ具合を調べる実験です。薬品はチューブに入っているので子供でも安全に実験をすることができます。

【行われた出前講座の内容】もともとは、昨年作定された「上下水道ビジョン」について出前講座を依頼しましたが、今は用意ができないとして、前半は基本メニューの講義部分（クイズと実験は割愛）、後半は質疑応答の形で進められました。

【出前講座講義内容】 パワーポイントを使って進められ、子供用ということもあり、基本的なことが丁寧に説明されていました。目新しいことはほとんどありませんでしたが、下水を浄化する微生物については、大きく拡大された微生物が動き回る動画で紹介され面白いと思いました。

【質疑応答】（事前に提出した質問及び会場からの質問と回答）

Q：岡崎市下水道は、流域下水道が供用開始になった平成4年以降、急激な建設を続けましたが、それらの更新時期が大きな問題となりますが、どのように考えていますか。

A：下水道管の耐用年数は50年と言われています。更新には莫大な費用がかかりますが、管の入れ替えは高くつくので、管内面を樹脂で補強する経済的な方法を考えています。また、一時期に集中しないよう費用の平準化も検討課題です。

Q：大地震時の下水道施設の被害想定、市民への影響をどうとらえていますか。

A：地盤の液状化によるマンホールの浮き上がりなどを想定しています。時に地下水の高い砂地盤の地域。

Q：康生地区などは合流式であるが、施設の更新に合わせ、他の地区と同じ分流式にしたほうが良いのでは？

A：費用がかかり考えていません。また、各家庭の排水設備が合流式で作られており、その切替への市民の同意も不可欠です。合流区域内でも、まとまった宅地開発などでは、地域内を分流式で整備することもあります。

Q：下水管の大きさは、どれぐらいまで大きくなりますか。

A：市街地の下水をまとめて、県管理の流域下水道に流しこむところで、1000ミリ（直径）ぐらいです。

Q：下水処理場と浄化槽の下水処理の能力は？

A：最新の合併処理浄化槽なら同等だと思います。

Q：合流区域の範囲はどれぐらいですか。

A：汚水管が全体で1300kmぐらいに対し、300kmぐらいです。 Q：ポンプ場の数は A：汚水ポンプ場は4箇所、マンホールポンプは138箇所です。

Q：雨水の整備は5年確率で整備しているようですが、最近の豪雨を考えると不十分ではないか？

A：すでに整備されているので、変更することは困難であるが、幹線は、10年確率での整備も進めている。川へ放流しすぎると、川の氾濫や決壊を早めることになり大災害につながる。河川

とのバランスも重要です。

Q：下水道の料金改定について、審議会の答申は値上げの見送りとなったが、内容的には大口の料金を下げ、少量使用者の料金を上げる方向が示されているが？

A：大口の負担が大きくて下水道の使用を止められると、一般利用者に跳ね返ってくるので、それを避けるものです。

意見：大口の負担を示す、使用料の遡増度は、中核市平均で2.7に対し、岡崎市は2.6で、大口の負担は低いほうです。

3月5、6日 ロシア軍のウクライナ侵攻 に抗議するスタンディング活動をしました。





2022. 3. 5 東岡崎南口

3月例会の折に、参加者からロシアによるウクライナへの侵攻に抗議する意思表示ができないかという提案があり、ぜひやろうということになり、平和に関する行動なので、「ピースサイクル岡崎」に主催してもらい、活動することにしました。

3月5日は東岡崎南口に3時に集まって、意思表示のメッセージパネルに南口に来た皆さんにウクライナ大使館、ロシア大使館へのメッセージを書いてもらいました。チラシを見して通り過ぎる人が多かったけれど、B紙いっぱいコメントが集まりました。

3月6日はりぶら前の広場に2時から始めたのですが、風がとても強く、開始前にB紙で作ったメッセージボードが吹き飛ばされてしまいました。そこで仕方なく、メッセージプラカードを掲げて通行する市民に訴えることにしました。数人の方からは「がんばってください」と声をかけていただきましたが、市民生活を営む一人一人が意思表示することではないだろうかと心の中でつぶやいてしまいました。

市民に公正な情報が示される社会を作ろうとするオンブズマン活動とも結びついていると思います。

ウクライナの現状を変える力としては無力かもしれませんが、世界中の市民が声を上げることで、ウクライナに平和が訪れることを信じて、皆さんもいろんな方法で声を上げてみてはどうでしょうか。